

第1回 ライトノベル作法研究所主催 大夏祭り大会 選評評価シート

作品名：「ロリ巨乳と病んでる女子と天邪鬼」

テーマ：「小学生の容姿なのに巨乳の美少女」

キャラクター

35

ストーリー

35

テーマ(設定)

45

文章力

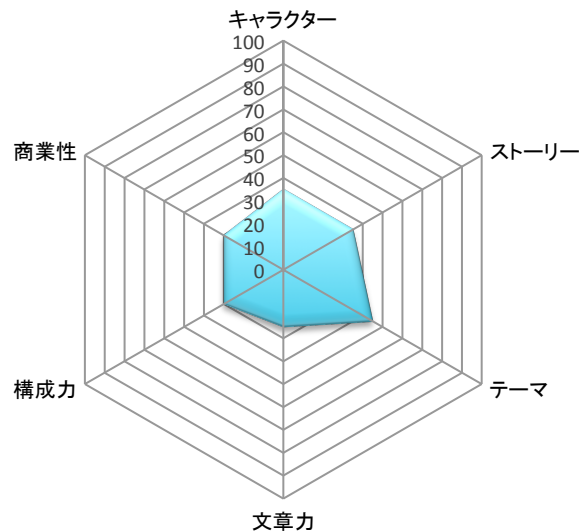
25

構成力

30

商業性

30



・見受けられる基礎的な問題点

- ・キャラクターに個性がない(もしくはその個性を生かしきれていない)
- ・キャラクターの設定にオリジナリティがなく、読んでいて新鮮さに欠ける
- ・キャラクターの行動に動機がなく、物語がご都合展開になってしまっている
- ・物語の方向性が定まっておらず、読む側にだるさを感じさせてしまっている
- ・物語に登場人物達にとっての障害が登場せず、盛り上がり欠ける
- ・テーマ(世界観)が既存の作品の焼き回しで差別化されていない
- ・物語上必要のない設定を多く登場させ過ぎている
- ・意味の無い暗いテーマ(人の死、暴力等)が扱われており、後味が悪い
- ・プロットの練り方が甘い(基本的な起承転結が意識されていない)
- ・時系列の流れが不自然、もしくは視点移動が多過ぎて構成が理解しにくい
- ・物語の情景描写が足りず、読んでいて状況を想像できない
- ・文章が難解かもしくは文法的に問題があり、よく読まないと内容が理解できない
- ・伏線的な要素がなさすぎて驚きに欠ける
- ・笑いをとれる下ネタが少なく、読んでいて冷める下ネタが多い
- ・「この作品の最大の魅力はこれ!」というものがない

・総評 (もしくは、今後これをやったら更に面白い作品を書けるようになるかもという話)

・もむと胸をでかく出来る能力という設定は、今までありそうで無かった設定であるように感じる。実際とても面白かった。ただこの能力を出した以上ギャグ路線がほぼ確定するため、バトルもそれなりにギャグ要素を盛り込んだ方が小説として面白くなると思われる。

・全体的に専門用語が多く、かつその用語に対する説明がないため、読みながらうまく状況を想像できない。まだ50枚制限には余裕があるため最低限の説明があればより多くの読者が楽しめる作品となったと考えられる。ペDESTリアンデッキ……?

・これについては賛否両論分かれる点ではあると思うが、この作品のヒロイン枠には真由をあてた方が作品全体がすすりするのではないかな?

・是非次回から作品を書く際には類義語辞典(ネット上にあります)を使ってみたいと感じた。あまり読者が読みやすい言葉選びがなされていないような印象を得たため、一度自分が使いたい用語を類義語辞典で検索し、その中から分かりやすい言葉を探してそれを使用することで、より読者に寄り添った分かり易く+より面白い作品が書けるようになるのではないかな?

合計加点ポイント: 0

総得点: 200 / 600

B方式総合得点: 6667 点